

HTMLヘルプの制作ガイド

目次

1. HTMLヘルプの制作	3
1.1. プロジェクトファイル (.hhp) の作成	5
[OPTIONS]セクション (.hhpファイル)	5
[WINDOWS]セクション (.hhpファイル)	8
[FILES]セクション (.hhpファイル)	12
2. Microsoft HTML Help Workshopの概要	16
3. Microsoft Expression Webの概要	17
3.1. Expression Web 4の初期設定	18

1. HTMLヘルプの制作

本文書では、HTMLヘルプを制作するうえでの基本事項を説明しています。制作者、編集者、翻訳関係者を対象としています。

HTMLヘルプの概要

HTMLヘルプとは、Windows向けのオンラインヘルプの形式のことをいい、アプリケーションのヘルプメニューやドライバーソフトウェアのヘルプボタンから利用されるマニュアルです。

図1：HTMLヘルプの画面表示

HTMLヘルプのファイル拡張子は.chmで、.chmファイルをエクスプローラーでダブルクリックすると、ヘルプビューワーが起動します。

画面表示は、目次・キーワード・検索タブを含むナビゲーションパネルと、コンテンツ表示部であるトピックパネルからなります。



表1：HTMLヘルプの制作環境

正式名称	Microsoft Compiled HTML Help
ファイル拡張子	.chm
動作／制作環境	Windows 98以降
制作ツール	<ul style="list-style-type: none"> Microsoft HTML Help Workshop (P.16) HTMLエディター (Microsoft Expression Web 4 (P.17))

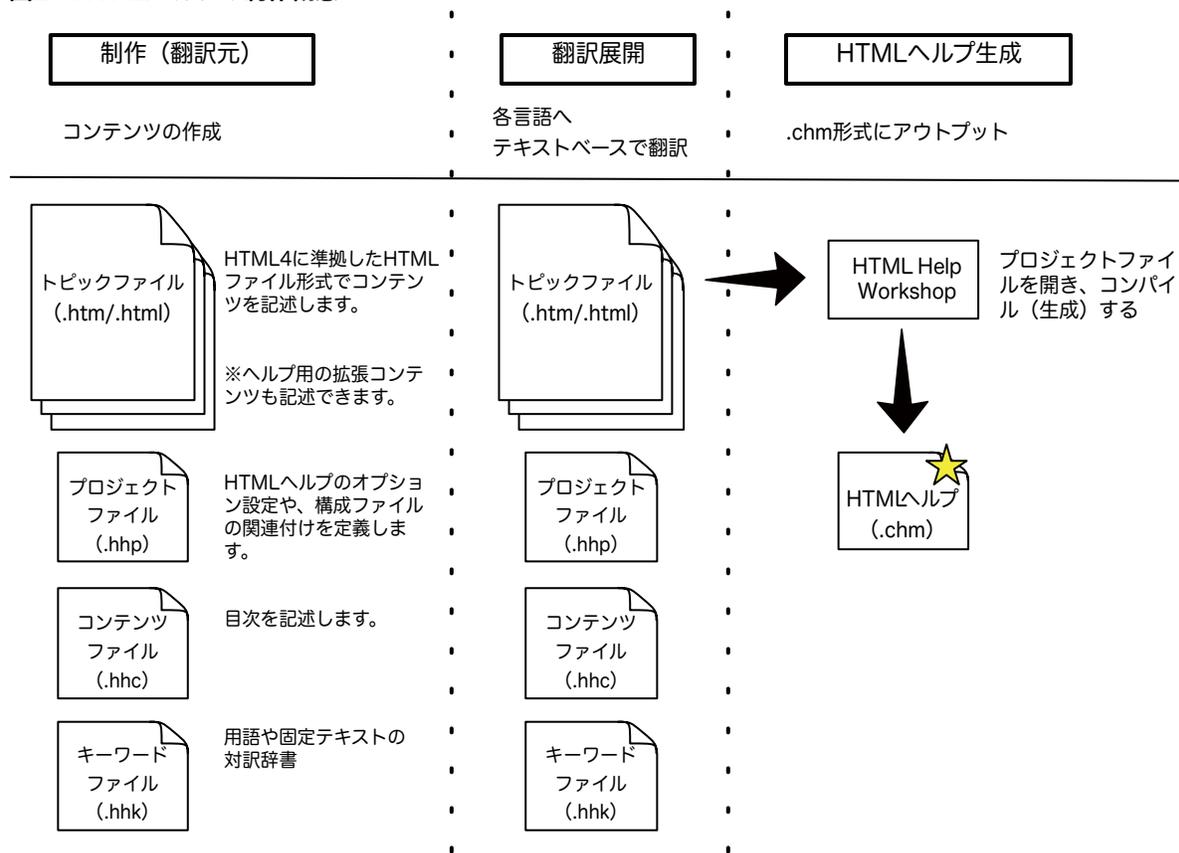
HTMLヘルプの制作

表2：HTMLヘルプの構成要素

名称	ファイル拡張子	説明
必須要素		
プロジェクトファイル (P.5)	hhp	構成要素の関連付けと、オプション設定を定義します。
トピックファイル	htm	本文を記述します。
任意要素		
コンテンツファイル	hhc	目次を記述します。
キーワードファイル	hhk	キーワードを記述します。

補足：必須要素だけがHTMLヘルプを作成するうえで、必要なファイルです。

図2：HTMLヘルプの制作概念



参照資料：

- HTML入門
- HTMLリファレンス
- HTMLヘルプの仕様（英語）

1.2. プロジェクトファイル (.hhp) の作成

.hhpファイルには、HTMLヘルプのオプション設定と、構成ファイルの関連付けを記述します。HTML Help WorkShopやテキストエディターで変更できます。

.hhpファイルの構造

.hhpファイルをテキストエディターで開くと、以下のようなファイル構造であることがわかります。[] で囲まれたセクションごとに記述をし、パラメーターと設定値は = で区切るようにします。

おもなセクションは、[OPTIONS] (P.5)、[WINDOWS] (P.8)、[FILES] (P.12)です。

図3 : .hhpファイルの例



[OPTIONS]セクション (.hhpファイル)

[OPTIONS]セクションには、HTMLヘルプのオプション設定を記述します。

設定の変更

設定を変更するには、下図のようにHTML Help Workshopで.hhpファイルを開いてから、左側にあるツールバーのChange project optionsアイコンをクリックし、設定ダイアログを開きます。

タブごとの設定を以降で説明します。

図4 : Optionsダイアログの開き方



Generalタブ

Generalタブでの設定項目を説明します。



設定項目	パラメーター	説明
Title	Title	タイトルバーに表示されるテキストを入力します。
Default file	Default topic	最初に表示されるトピックファイルを選択します。
Default window	Default Window	ウィンドウの初期設定を選択します。 [WINDOWS]セクションで定義した設定が選択項目に表示されます。
Language	Language	HTMLヘルプの記述言語を選択します。
Font	Default Font	表示フォントを選択します。 補足：トピック部分のフォントには影響しません。トピック部分のフォントはCSSファイルで指定します。

Filesタブ

Filesタブでの設定項目を説明します。



設定項目	パラメーター	説明
Compiled file	Compiled file	HTMLヘルプのファイル名 (.chm) を入力します。
Log file	Error log file	コンパイル (HTMLヘルプを生成) 時のログファイル名を入力します。
Contents file	Contents file	目次ファイル名 (.hnc) を選択します。
Automatically create contents file [.hnc] when compiling	Auto TOC	自動で目次ファイルを生成する場合に、有効にします。

設定項目	パラメーター	説明
Maximum head level	Auto TOC	自動で目次ファイルを生成する場合に、見出しのレベルを指定します。コンテンツデータにある<h1>～<h9>要素のテキストから生成されます。 補足：Automatically create contents file [.hhc] when compilingを有効にすると、設定できるようになります。
Index file	Index file	キーワードファイル名 (.hhk) を選択します。
Include keywords from HTML files	Auto Index	自動でキーワードファイルを生成する場合に、有効にします。
Full text search stop list file	Full text search stop list file	検索でヒットさせたくない単語を改行区切りで記述した、テキストファイルを選択します。

Compilerタブ

Compilerタブでの設定項目を説明します。



設定項目	パラメーター	説明
Notes	Display compile notes	コンパイルメッセージを表示する場合に、有効にします。
Progress	Display compile progress	コンパイルの進捗を表示する場合に、有効にします。
Compatibility	Compatibility	生成するHTMLヘルプのバージョンを選択します。
Don't include folders in compiled file	Flat	生成したHTMLヘルプにフォルダーが含まれないようにする場合に、選択します。
Support enhanced decompilation	Enhanced decompilation	拡張逆コンパイルを許可する場合に、有効にします。
Compile full-text search information	Full-text search	全文検索を許可する場合に、有効にします。
Create a binary Index	Binary Index	HTMLヘルプの実行時にキーワードを自動で並び替える場合に、有効にします。
Create a binary TOC	Binary TOC	目次の項目が多い場合に有効にすると、表示速度が高まります。

Merge Filesタブ

Merge Filesタブでは、HTMLヘルプの実行時にほかのHTMLヘルプを結合するための設定をします。

Add...ボタンから結合対象のHTMLヘルプ (.chm) を追加でき、Removeボタンで追加したHTMLヘルプを削除できます。

補足：Merge Filesタブの設定は[OPTIONS]セクションではなく、[MERGE FILES]セクションに定義します。



[WINDOWS]セクション (.hhpファイル)

[WINDOWS]セクションには、HTMLヘルプの画面機能に関する設定を記述します。

設定の変更

設定を変更するには、下図のようにHTML Help Workshopで.hhpファイルを開いてから、左側にあるツールバーのAdd/Modify window definitionsアイコンをクリックし、設定ダイアログを開きます。

タブごとの設定を以降で説明します。

図5：Window Typesダイアログの開き方



Generalタブ

Generalタブでの設定項目を説明します。



設定項目	説明
Window type	設定対象のウィンドウを選択します。 補足：初期ウィンドウは、[OPTIONS]セクション (P.5) > Generalタブ (P.0)の Default window で設定した名称になります。
Title bar text	タイトルバーに表示されるテキストを入力します。

Buttonsタブ

Buttonsタブでの設定項目を説明します。



設定項目	説明
Window type	設定対象のウィンドウを選択します。 補足：初期ウィンドウは、[OPTIONS]セクション (P.5) > Generalタブ (P.0)の Default window で設定した名称になります。
Button Types	ウィンドウに表示するボタン機能を選択します。
Jump 1 text	Jump 1 ボタンの名称を入力します。入力後に OK ボタンをクリックすると、リンク先を設定するダイアログが表示されます。 補足：Button Typesで Jump 1 を有効にすると、設定できません。
Jump 2 text	Jump 2 ボタンの名称を入力します。設定内容は、 Jump 1 text の場合と同じです。

Positionタブ

Positionタブでの設定項目を説明します。



設定項目	説明
Window type	設定対象のウィンドウを選択します。 補足 ：初期ウィンドウは、[OPTIONS]セクション (P.5) > Generalタブ (P.0)のDefault windowで設定した名称になります。
Save user defined window position after first use	HTMLヘルプ実行後のウィンドウ位置とサイズを記憶し、次回実行時にその情報が使用されるようにする場合に、有効にします。
Left / Top / Width / Height	ウィンドウの左側位置／上側位置／幅／高さの値を、ポイント単位で入力します。
Autosizer	クリックすると、位置とサイズを調整できるウィンドウが表示されます。任意の位置とサイズに変更してから、OKボタンをクリックすると、設定が反映されます。
Default Positions	初期ウィンドウ設定に戻す場合にクリックします。

Filesタブ

Filesタブでの設定項目を説明します。



設定項目	説明
Window	設定対象のウィンドウを選択します。 補足 ：初期ウィンドウは、[OPTIONS]セクション (P.5) > Generalタブ (P.0)のDefault windowで設定した名称になります。
TOC	目次ファイルを選択します。
Index	キーワードファイルを選択します。
Default	最初に表示されるトピックファイルを選択します。
Home	Homeボタンをクリックしたときに、表示されるトピックファイルを選択します。 補足 ：Homeボタンは、Buttonsタブ (P.0)のButton TypesでHomeを有効にすると、表示されます。

設定項目	説明
Jump 1	<p>Jump 1ボタンのリンク先を選択します。</p> <p>ドロップダウンリストからはトピックファイルを選択できますが、URLを入力することで外部にもリンクできます。</p> <p>補足：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Jump 1ボタンは、Buttonsタブ (P.0)のButton Typesで Jump 1を有効にすると、表示されます。 ・ Buttonsタブ (P.0)のJump 1 text設定後に表示されるダイアログでのリンク先設定と同じことを行えます。
Jump 2	Jump 2ボタンのリンク先を選択します。設定内容は、Jump 1の場合と同じです。

Navigation Paneタブ

Navigation Paneタブでの設定項目を説明します。



設定項目	説明
Window type	<p>設定対象のウィンドウを選択します。</p> <p>補足：初期ウィンドウは、[OPTIONS]セクション (P.5)>Generalタブ (P.0)のDefault windowで設定した名称になります。</p>
Windows with navigation pane, topic pane, and button	ウィンドウにナビゲーションパネル（ウィンドウ左側の目次・キーワード・検索の画面部）を表示する場合に、有効にします。
Navigation pane width	<p>ナビゲーションパネルの幅を入力します。</p> <p>補足：入力なし（空）にすると、初期値が適用されます。</p>
Open with navigation pane closed	ナビゲーションパネルの初期表示を非表示にする場合に、有効にします。
Auto sync	有効にすると、現在表示しているトピックファイルに応じて、ナビゲーションパネル上の目次表示を同期するようになります。
Automatically show/hide navigation pane	ナビゲーションパネルの表示／非表示が自動で行われるようにする場合は、有効にします。
Default tab	ナビゲーションパネルで初期表示にするタブを選択します。
Search tab	検索タブを表示する場合に、有効にします。
Advanced	<p>拡張全文検索を許可する場合に、有効にします。</p> <p>補足：Search tabを有効にすると、設定できます。</p>

設定項目	説明
Favorites tab	お気に入りタブの表示を許可する場合に、有効にします。

Styles / Extended Stylesタブ

Styles / Extended Stylesタブでは、ウィンドウ装飾の有無を設定できます。



[FILES]セクション (.hhpファイル)

[FILES]セクションでは、HTMLヘルプのトピックファイルを関連付けます。

設定の変更

設定を変更するには、下図のようにHTML Help Workshopで.hhpファイルを開いてから、左側にあるツールバーのChange project optionsアイコンをクリックし、設定ダイアログを開きます。

タブごとの設定を以降で説明します。

図6：Optionsダイアログの開き方



Generalタブ

Generalタブでの設定項目を説明します。

Sample

設定項目	パラメーター	説明
Title	Title	タイトルバーに表示されるテキストを入力します。
Default file	Default topic	最初に表示されるトピックファイルを選択します。
Default window	Default Window	ウィンドウの初期設定を選択します。 [WINDOWS]セクションで定義した設定が選択項目に表示されます。
Language	Language	HTMLヘルプの記述言語を選択します。
Font	Default Font	表示フォントを選択します。 補足：トピック部分のフォントには影響しません。トピック部分のフォントはCSSファイルで指定します。

Filesタブ

Filesタブでの設定項目を説明します。

Sample

設定項目	パラメーター	説明
Compiled file	Compiled file	HTMLヘルプのファイル名 (.chm) を入力します。
Log file	Error log file	コンパイル (HTMLヘルプを生成) 時のログファイル名を入力します。
Contents file	Contents file	目次ファイル名 (.hnc) を選択します。
Automatically create contents file [.hnc] when compiling	Auto TOC	自動で目次ファイルを生成する場合に、有効にします。

設定項目	パラメーター	説明
Maximum head level	Auto TOC	自動で目次ファイルを生成する場合に、見出しのレベルを指定します。コンテンツデータにある<h1>～<h9>要素のテキストから生成されます。 補足：Automatically create contents file [.hhc] when compilingを有効にすると、設定できるようになります。
Index file	Index file	キーワードファイル名 (.hhk) を選択します。
Include keywords from HTML files	Auto Index	自動でキーワードファイルを生成する場合に、有効にします。
Full text search stop list file	Full text search stop list file	検索でヒットさせたくない単語を改行区切りで記述した、テキストファイルを選択します。

Compilerタブ

Compilerタブでの設定項目を説明します。



設定項目	パラメーター	説明
Notes	Display compile notes	コンパイルメッセージを表示する場合に、有効にします。
Progress	Display compile progress	コンパイルの進捗を表示する場合に、有効にします。
Compatibility	Compatibility	生成するHTMLヘルプのバージョンを選択します。
Don't include folders in compiled file	Flat	生成したHTMLヘルプにフォルダーが含まれないようにする場合に、選択します。
Support enhanced decompilation	Enhanced decompilation	拡張逆コンパイルを許可する場合に、有効にします。
Compile full-text search information	Full-text search	全文検索を許可する場合に、有効にします。
Create a binary Index	Binary Index	HTMLヘルプの実行時にキーワードを自動で並び替える場合に、有効にします。
Create a binary TOC	Binary TOC	目次の項目が多い場合に有効にすると、表示速度が高まります。

Merge Filesタブ

Merge Filesタブでは、HTMLヘルプの実行時にほかのHTMLヘルプを結合するための設定をします。

Add...ボタンから結合対象のHTMLヘルプ (.chm) を追加でき、Removeボタンで追加したHTMLヘルプを削除できます。

補足：Merge Filesタブの設定は[OPTIONS]セクションではなく、[MERGE FILES]セクションに定義します。



Sample

2. Microsoft HTML Help Workshopの概要

Workshopは、HTMLヘルプ（.chm）を生成するためのツールです。HTMLヘルプは次の構成ファイルをもとに生成されます。

表3：HTMLヘルプの構成要素

名称	ファイル拡張子	説明
必須要素		
プロジェクトファイル (P.5)	hhp	構成要素の関連付けと、オプション設定を定義します。
トピックファイル	htm	本文を記述します。
任意要素		
コンテンツファイル	hhc	目次を記述します。
キーワードファイル	hhk	キーワードを記述します。

図7：Workshopで.hhpファイルを開いた画面



3. Microsoft Expression Webの概要

Expression Webは、Webサイトのオーサリングツールです。HTML/CSSファイルの編集ができます。

最新版	Expression Web 4 補足：このバージョンでサポートが終了しています。
動作環境	Windows XP以降

図8：Expression Web 4でHTMLファイルを開いた画面



3.2. Expression Web 4の初期設定

初めて使用するときの初期設定について説明します。